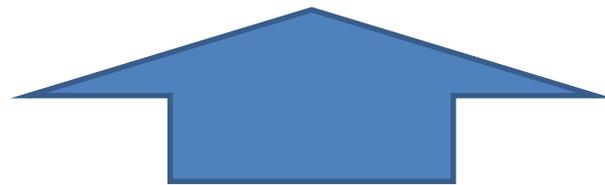


非破壊試験技術者育成体制の構築状況

- 複数企業が連携した部品の一貫体制構築には、非破壊検査工程が必要となるが、技術者の国際認証（Nadcap）取得が、中小企業にとって大きな参入障壁。
- このため、経済産業省は航空機産業のサプライチェーンの鍵となる非破壊試験技術者の育成講座を開講。初の資格試験の実施に向けて体制及び運営面を検討。

	体制構築前	構築後
座学	<ul style="list-style-type: none">• 海外訓練機関で訓練（英語）• 国内大手企業への出向（狭き門）での社内訓練	<p>国内訓練機関での受講も可能</p> <ul style="list-style-type: none">• 兵庫 浸透探傷及び磁気探傷（2017年10月～） 超音波探傷（2018年10月～）• 岐阜 超音波探傷（2019年度開始予定）
実務経験	<ul style="list-style-type: none">• 国内大手企業への出向• 自社内で実施	<p>国内大手企業への出向 または自社内で実施</p>
試験	<ul style="list-style-type: none">• 海外で受検（英語）• 国内大手企業への出向（狭き門）での社内試験	<p>国内でも受検可能（日本語） （体制及び運営面検討中）</p>



日本航空宇宙非破壊試験委員会

- 航空機関係企業（重工、エアライン等）のNAS410のLevel 3取得者計11名で構成。
- 2019年度内の資格試験実施に向け、試験問題作成等各種取組を実施予定。